

機械器具 49 医療用穿刺器、穿削器及び穿孔器
一般医療機器 穿孔器(12989001)

カヤット TSV 用オステオトーム

形状・構造及び原理等

形状

13333.01, 13333.02, 13333.03, 13333.04, 13333.05, 13333.06



寸法

カタログ 番号	カタログ名	先端径 (mm)
13333.01	カヤット TSV 用オステオトーム#1 φ A2.0/ φ B2.5 曲	2.0/2.5
13333.02	カヤット TSV 用オステオトーム#2 φ A2.5/ φ B3.0 曲	2.5/3.0
13333.03	カヤット TSV 用オステオトーム#3 φ A3.0/ φ B3.5 曲	3.0/3.5
13333.04	カヤット TSV 用オステオトーム#4 φ A3.5/ φ B4.0 曲	3.5/4.0
13333.05	カヤット TSV 用オステオトーム#5 φ A4.0/ φ B4.5 曲	4.0/4.5
13333.06	カヤット TSV 用オステオトーム#6 φ A4.5/ φ B5.2 曲	4.5/5.2

3.組成
ステンレス鋼

使用目的又は効果

本品は骨に貫通させるために用いる槍状で軸の近位端にハンドルを備えたステンレス製の器具であり、骨孔の形成や骨を押し広げる目的で使用する。

使用方法等

1. 本品は、未滅菌品であるので使用前に必ず洗浄し、医療機関内で担保された滅菌条件にて高圧蒸気滅菌を行うこと。
推奨滅菌条件： 121℃ 20 分間
134℃ 5 分間
2. 歯槽頂から上顎洞底までの深さは最低 5～6mm が必要である。
3. 皮質骨をバーで穿孔した後、#1 で上顎洞底手前約 1mm を残して φ 2.0mm/2.5mm まで骨孔を拡大させる。
4. #2 を用いて上顎洞底手前約 1mm まで軽くタッピングを加えて挿入する。オステオトームの先端部は凹形状の刃をしており、骨を削ると同時に削った骨を先端部へ押し込む機能を有している。
5. 埋入するインプラントの太さに応じて、最終のオステオトームを選択する。最終オステオトームを使用するときは採取した自家骨又は他材と混合された補填材を挿入し、上顎洞粘膜との間に介在させた状態で上顎洞底を穿孔する。
6. 予定した適切な太さ、長さのインプラントをセルフタップで埋入する。

使用方法等に関連する使用上の注意

- 1) 上顎洞底までの深さが 5～6mm 以下の場合にはインプラントの初期固定が得られないので注意すること。
- 2) オステオトーム先端を直接上顎洞内へ入れないようにすること。
- 3) 本品を槌打する際は骨面に垂直に行うこと。
- 4) マレティングの際は槌打する力に十分注意すること。強過ぎるマレティングは上顎洞への穿孔を引き起こす恐れがある。
- 5) 骨質の固い場合には骨内において本品を水平方向にこじると骨折の原因となるため注意すること。

使用上の注意

1. 本品の使用前に、必ずサイズを確認すること。
2. 折損、曲がり等の原因になり得るので使用時に必要以上の力(応力)を加えないこと。
3. 使用後は、付着している血液、体液、組織及び薬品等が乾燥しないよう、直ちに洗浄液等に浸漬すること。
4. 塩素系及びヨウ素系の消毒剤は、金属腐食を起こす恐れがあるので使用しないこと。

保守・点検に係る事項

1. 使用後はできるだけ早く血液、体液、組織等の汚物を除去し、洗浄・消毒すること。

2. 汚染除去に用いる洗浄剤は、洗浄方法に適したものを選択し、適正な濃度で使用する。
3. 超音波洗浄器等の洗浄装置で洗浄するときには、器具同士が接触して損傷することがないように注意すること。
4. 洗浄剤の残留がないよう十分にすすぎをすること。仕上げのすすぎには、出来るだけ精製水を用いること。
5. 洗浄後は、腐食防止のために、直ちに乾燥させること。
6. 使用(滅菌)前に汚れ、傷、曲がり等の異常がないか点検をすること。
7. 強アルカリ/強酸性洗浄剤・消毒剤は、器具を腐食させる恐れがあるので使用しないこと。
8. 洗浄の際、クレンザー(磨き粉)や金属たわしを使用しないこと。

製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等

製造販売業者 :株式会社 インプラテックス
ホームページ:http://www.itx.co.jp
TEL:03-5850-8555 FAX:03-5850-8505
輸入先国 :ドイツ
輸入先製造業者:ストーマ社
(Storz am Mark GmbH)